

第72期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日

Contents

- P 1 株主の皆様へ
- P 3 連結財務諸表
- P 5 会社の概要
- P 6 株式の状況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社の第72期上半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の事業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当上半期における日本経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、米国の政策動向や地政学的リスクなどにより景気の先行きは不透明な状況が続きました。

世界経済につきましては、米国及び欧州経済は回復が続き、中国をはじめ新興国経済も底堅く推移いたしました。

工業用ミシンにつきましては、繊維産業の集積地であった中国からその他のアジアを中心に縫製拠点を移転させる動きが依然として継続しておりますが、アジア市場や米州市場における需要は前年同四半期に比べ低調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、需要は緩やかに推移いたしました。

このような環境のもとで、当上半期の売上高は83億57百万円（前年同期比17.7%減）となり、営業利益は12億81百万円（前年同期比23.6%減）、経常利益は為替差益の計上などにより13億70百万円（前年同期比6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億91百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

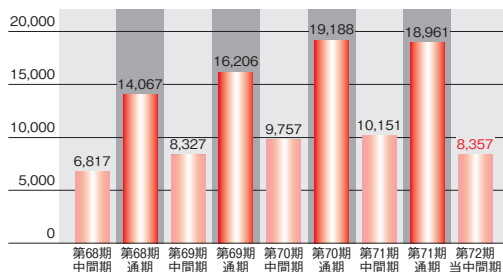
株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

代表取締役社長執行役員 美馬成望

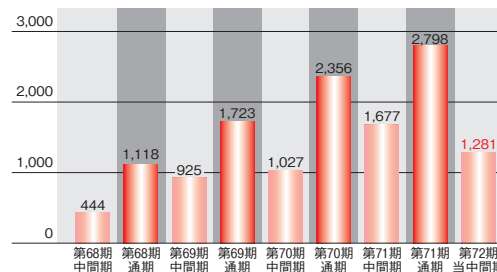
■売上高の推移

（単位：百万円）



■営業利益の推移

（単位：百万円）

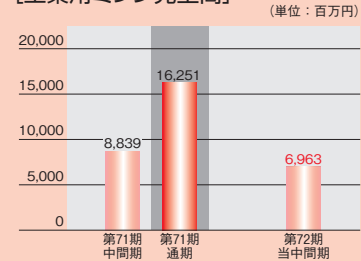


セグメント別の概況

工業用マシン

工業用マシンにつきましては、縫製産地の流動化に応じた販売戦略の展開やコストダウンに努めましたが、売上高は69億63百万円（前年同期比21.2%減）、営業利益は17億5百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

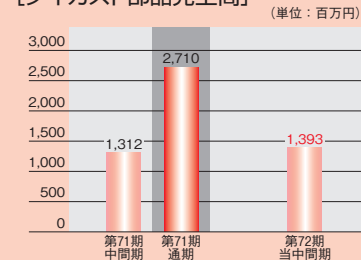
[工業用マシン売上高]



ダイカスト部品

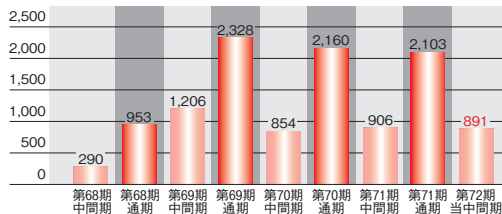
ダイカスト部品につきましては、販路の拡大に向けた販売活動を行い需要は緩やかに推移したものの、円高の影響などにより売上高は13億93百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は1億28百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

[ダイカスト部品売上高]



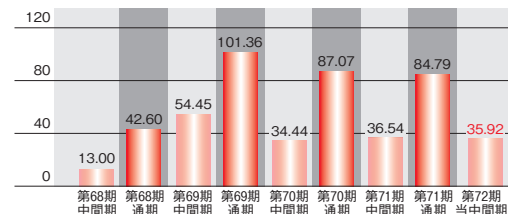
■純利益の推移

(単位：百万円)



■1株当たり純利益の推移

(単位：円)



[中間連結貸借対照表]

(単位：千円)

科目	前年通期 (平成29年3月31日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)	科目	前年通期 (平成29年3月31日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	21,604,144	21,422,960	流動負債	5,374,671	4,649,487
現金及び預金	6,906,902	6,998,758	支払手形及び買掛金	1,539,234	1,298,691
受取手形及び売掛金	4,802,548	4,502,401	短期借入金	1,159,224	1,264,927
有価証券	110,821	112,074	未払法人税等	698,303	649,824
商品及び製品	4,311,440	4,664,236	賞与引当金	208,349	187,688
仕掛品	766,679	678,689	その他	1,769,560	1,248,356
原材料及び貯蔵品	3,671,098	3,500,667	固定負債	1,843,599	1,890,351
その他	1,167,724	1,119,981	社債	426,570	225,480
貸倒引当金	△ 133,071	△ 153,848	長期借入金	333,220	569,460
固定資産	6,864,719	6,667,618	退職給付に係る負債	631,376	615,510
有形固定資産	5,888,298	5,732,278	その他	452,432	479,901
無形固定資産	626,554	598,392	負債合計	7,218,270	6,539,839
投資その他の資産	349,865	336,948	(純資産の部)		
			株主資本	18,971,838	19,615,035
			資本金	2,255,553	2,255,553
			資本剰余金	2,983,084	2,983,084
			利益剰余金	13,738,551	14,381,747
			自己株式	△ 5,350	△ 5,350
			その他の包括利益累計額	1,610,572	1,296,325
			その他有価証券評価差額金	2,660	14,074
			為替換算調整勘定	1,741,477	1,399,866
			退職給付に係る調整累計額	△ 133,565	△ 117,615
			非支配株主持分	668,181	639,379
			純資産合計	21,250,593	21,550,740
資産合計	28,468,864	28,090,579	負債・純資産合計	28,468,864	28,090,579

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT①** 流動資産は、前年通期に比べて1億81百万円減少し、214億22百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が3億円、原材料及び貯蔵品が1億70百万円それぞれ減少し、商品及び製品が3億52百万円増加したことなどによります。固定資産は、前年通期に比べて1億97百万円減少し、66億67百万円となりました。これは、有形固定資産が1億56百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は前年通期に比べて3億78百万円減少し、280億90百万円となりました。
- POINT②** 流動負債は、前年通期に比べて7億25百万円減少し、46億49百万円となりました。これは、その他流動負債が5億21百万円、支払手形及び買掛金が2億40百万円それぞれ減少し、短期借入金が1億5百万円増加したことなどによります。固定負債は、前年通期に比べて46百万円増加し、18億90百万円となりました。これは、長期借入金が2億36百万円増加し、社債が2億1百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は前年通期に比べて6億78百万円減少し、65億39百万円となりました。
- POINT③** 純資産合計は、前年通期に比べて3億円増加し、215億50百万円となりました。これは、利益剰余金が6億43百万円増加し、為替換算調整勘定が3億41百万円減少したことなどによります。

[中間連結損益計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
売上高	10,151,648	8,357,647
売上原価	6,155,139	4,735,950
売上総利益	3,996,508	3,621,696
販売費及び一般管理費	2,318,745	2,339,966
営業利益	1,677,762	1,281,730
営業外収益	51,217	118,451
営業外費用	446,046	29,669
経常利益	1,282,933	1,370,511
特別利益	44,175	14,206
特別損失	—	440
税金等調整前中間純利益	1,327,109	1,384,277
法人税、住民税及び事業税	335,159	292,850
法人税等調整額	44,687	169,721
中間純利益	947,262	921,705
非支配株主に帰属する中間純利益	40,664	30,403
親会社株主に帰属する中間純利益	906,597	891,302

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

[中間連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	683,181	986,670
POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	131,651	△ 54,021
POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 746,797	△ 632,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 521,855	△ 17,475
現金及び現金同等物の増減額	△ 453,819	282,306
現金及び現金同等物の期首残高	5,598,529	5,963,415
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,144,710	6,245,721

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が13億84百万円であり、減価償却費3億44百万円、売上債権の減少1億84百万円、法人税等の支払額3億45百万円、たな卸資産の増加2億63百万円、仕入債務の減少1億63百万円などにより、9億86百万円の収入となりました。

POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出9億14百万円、有形固定資産の取得による支出2億65百万円、定期預金の払戻による収入10億89百万円などにより、54百万円の支出となりました。

POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の純減少額3億35百万円、配当金の支払額2億48百万円などにより、6億32百万円の支出となりました。

創	業	大正3年1月
設	立	昭和22年1月8日
資	本 金	22億5,555万円
従	業 員 数	221名（従業員数には、臨時従業員（パートタイマー、顧問および派遣社員） および他社への出向者は含まれておりません。）
U	R	L
		http://www.pegasus.co.jp

役員および執行役員の状況（平成29年9月30日現在）

取締役会長執行役員	清 水 盛 明	監査役（常勤）	瀬 戸 洋 じ
代表取締役社長執行役員	美 馬 成 望	監査役（社外）	古 寺 均
取締役副会長執行役員	末 永 高 じ	監査役（社外）	杉 山 清 和
取締役副会長執行役員	かつ 勝 連 雅 生	上席執行役員	大 西 弘
常務取締役執行役員	高 孟 浩 昊	上席執行役員	岡 田 義 秀
常務取締役執行役員	なか 中 村 淳 一	上席執行役員	プロアーメルヴィン
取締役執行役員	よし 吉 田 泰 三	執行役員	むら 村 田 都 彦
取締役執行役員	あさ 朝 子 高 司	執行役員	美 馬 正 道
取締役（社外）	しら 白 井 文	執行役員	おか 岡 本 裕 之
取締役（社外）	おお 大 西 宏 尚	執行役員	金 子 貴 司

製品紹介



LSN-400シリーズ
●小物、長尺物兼用サージングユニット



デジタル作業分析システム
●工場改善ソフトウェア
現場の声から生まれた、画期的な生産性改善ツール

株式の状況（平成29年9月30日現在）

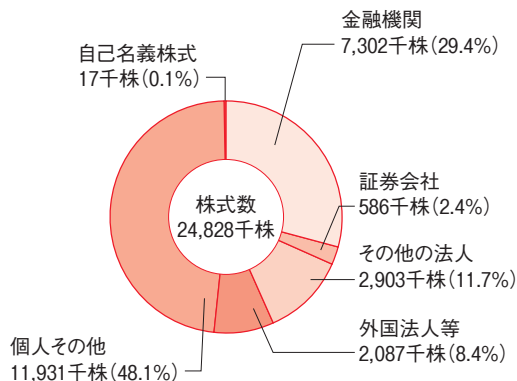
発行可能株式総数 76,928,000株
 発行済株式の総数 24,810,656株（自己株式17,944株を除く。）
 株主の総数 6,214名

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,603千株	14.52%
株式会社美馬	1,553千株	6.26%
株式会社三井住友銀行	830千株	3.35%
板東 敬三	742千株	2.99%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	712千株	2.87%
吉田 隆子	709千株	2.86%
美馬 成望	652千株	2.63%
ペガサスミシン従業員持株会	483千株	1.95%
美馬 正道	471千株	1.90%
板東 雄大	469千株	1.89%

注1 千株未満は切捨てて表示しております。
 2 当社は、自己株式17,944株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

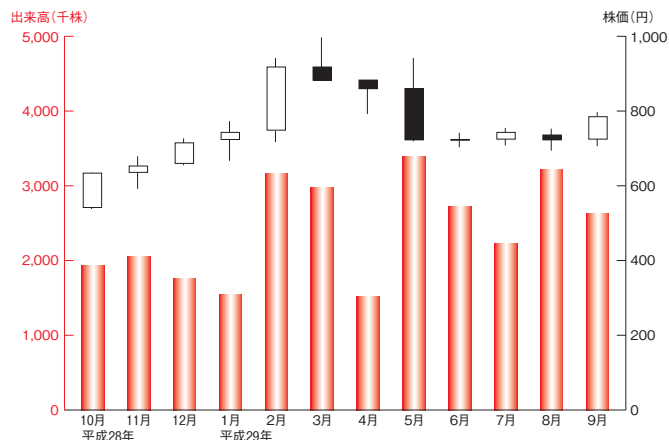
株式分布状況（平成29年9月30日現在）

●所有者別 株式保有割合



※株主諸統計表を参考に作成しています。所有株数、パーセントは四捨五入しております。

株価推移表



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (http://www.pegasus.co.jp) ※ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

WEBサイトのご案内

<http://www.pegasus.co.jp>

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

54th FISMA TOKYO 東京ファッション産業機器展に出展 2017年9月20日(水)～21日(木)

2017年9月20日～21日の2日間、東京ビッグサイトにて、54th FISMA TOKYO (東京ファッション産業機器展) が開催されました。

「Made in JAPAN [KAI-ZEN]」～より速く、より美しく、より正確に～のテーマのもと開催された今回の展示会には、2日間で10,000人を超える方々にご来場いただきました。

弊社ブースでも、生地をセットするだけの簡単な操作で美しく縫製できるLSN-400シリーズや、省エネでありながら生産性を改善できる自動バックタックミシンなど、上記テーマに合わせた最新鋭機器の展示を行いました。

中でも小回り機能への注目が高かったLSN-400シリーズの展示では、多くのお客様に実際に試し縫いを体験していただくことができ、大盛況のうちに閉幕いたしました。

ご多忙の中、ご来場いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

今後も皆様のお役に立てるような製品の開発やソリューションのご提案に努めてまいりますので、倍旧のお引き立てを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。